

(様式1)

令和6年度学校パワーアップ事業全体構想

学校名

荒川区立第九中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

「安心して登校でき、満足して下校できる学校」の実現に向け、家庭・地域・諸機関・学校が一体となった教育活動を推進し、知・徳・体 調和のとれた生徒の育成を行う。

◎カリキュラムマネジメントの視点をもって教育課程を実施し、「主体的・対話的（協働的）で深い学び」を推進するとともに、次の世代の人材育成の基礎を創る。

学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
<p>○夢につながる主体的な学びを推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の定着 eライブラリを活用し、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。 ・学校図書館の活用 学校図書とインターネット教材を併用することで生徒の探求心を向上させ、図書館活用の一層の充実を図る。 <p>○学力向上推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じた指導や教材を工夫することで、思考力・判断力や表現力の向上と知識の定着を図る。 ・検定資格の取得に向けた指導を充実させ、生徒の向上心を高める。 	<p>○こころとからだの健全な育成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理教育検査（Q-U、hyper-QU）の実施及び分析方法等の研修を行い、個に応じた指導を組織的に実践することで生徒の健全育成を図る。 <p>○専門家による特別授業推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業（陸上、ダンス）や保健指導において、知識や技能を身に付けることで、生徒の心と体の健全育成を図る。 <p>○良好な教育環境と体制を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱祭に向けて、専門家からの指導及びホールを使用することで音楽に関する関心・意欲の向上と情操教育の充実を図る。 <p>○体験的な学習活動を通して、よりよい未来社会を築く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な実技指導を通して、職業観の醸成を図る。 ・運動会における伝統種目の継承支援を行い、愛校心を育む。 	<p>○キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育コーディネーターと連携し、第1学年で校内ハローワーク、第2学年で勤労留学、第3学年で上級学校訪問を実施することで、3年間を見通した計画的な進路指導を実践し、生徒の職業観の醸成を図る。 <p>○学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を活発化し、生徒の探求心の向上を図る。 <p>○環境教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた植栽をすることで、愛校心や自然愛護の精神の育成を図るとともに、SDGs（15陸の豊かさを守ろう）への関心を促す。

令和5年度 全国・荒川区学力調査に関する結果（平均正答率：％）

区学力調査（全学年）

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	56.3	47.7	59.8	55.2	82.1	55.9	48.8	54.1	47.4	47.2
区	60.2	50.7	67.6	59.5	84.5	64.5	48.3	55.5	49.7	49.8
区との比較	▲ 3.9	▲ 3.0	▲ 7.8	▲ 4.3	▲ 2.4	▲ 8.6	0.5	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 2.6
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語					
自校	59.1	48.5	55.4	39.7	50.8					
区	65.9	49.9	56.1	45.2	50.3					
区との比較	▲ 6.8	▲ 1.4	▲ 0.7	▲ 5.5	0.5					

全国学力・学習状況調査（3年）

	国語	数学	英語
自校	64	49	48
全国（公立）	69.8	51.0	45.6
全国（公立）との比較	▲ 5.8	▲ 2.0	2.4

※学校の結果は整数で示されています。

令和6年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第九中学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
○夢につながる主体的な学びを推進する	<p>【内容】 区学力調査の結果において、ほぼ全ての教科において区平均正答率を下回っており、基礎学力の定着と家庭学習の習慣化が課題である。学力差に応じた学習活動を充実するため、個別対応に適した学習者コンテンツを活用した指導を実施する。 更に授業や補習学習の体制を整備し、指導効果を上げるための環境を充実させる。</p> <p>【目標】 区学力調査において、自校の平均正答率を3P上昇させるとともに、家庭学習の習慣アンケートでも5P上昇させる。 特に数学については基礎分野の正答率で、社会では地理分野での正答率を3P上昇させる。</p>
	<p>【内容】 区学力調査(i-check)の結果から、全学年で読書の習慣が身に付いておらず、それが国語の「読む力」に反映されている。また、ほとんどの教科において、「主体的に学習に取り組む態度」が区平均を下回っており、生徒の探求心を向上させるために学習環境を整える。 各種検定への取組を更に充実させ、生徒の向上心を高める。</p> <p>【目標】 第1、2学年の「読書の習慣はほとんどない」割合を10P下げるとともに、各学年の「主体的に学習に取り組む態度」を全てで区平均を上回るようにする。 また、各種検定への受検者を3P向上させる。</p>